

# 第 242 回競技委員会議事録

1. 日 時：2016年8月3日（水）18時00分～20時30分

2. 会 場：連盟本部事務局

3. 出席委員：

競技委員会：委員総数 12、定足数 8、出席 11（内委任状 3）で成立。

寺本直志委員長、

斉藤千鶴乃、山後秀幸、吉田正、西田奈津子

横井大樹、桜井雅子、仲村篤志

委任状：ロバート・ゲラー競技会事業担当業務執行理事

佐々部君敏、林伸之

欠席：正村祐一

オブザーバー：浅越ことみ

4. 議事の経過及び結果：委員の互選により仲村篤志委員を議長に議事を逐一審議した。

第 1 号議案 クラブディレクター承認の報告

(1) クラブディレクターの承認について下記の通り事務局から報告があった。

堀口 和義 166766 C-01106 東京都

濱田 尚子 187990 C-01107 東京都

加藤 惇 217587 C-01108 大阪府

第 2 号議案 セクショナルディレクター承認の報告

近藤 克子 158549(C-00740) 推薦者：近藤 久子

第 3 号議案 勝部氏からの意見書について

(1) 予想(10HCP)より強いハンドでのプリエンプトビッドについて検討した。

(2) プリエンプティブビッドは、対戦相手の情報交換の阻害やサクリフェイスを目的とするビッドで、どのようなハンドがプリエンプティブビッドに適してるかを判断することはブリッジのゲームの要素であるという意見があった。

(3) プリエンプティブビッドで 10HCP を少々超えることもある程度は「通常のナチュラル」の範疇でありアラートは必要ないという意見で合意した。

第 4 号議案 各ワーキンググループからの報告

(1) IMP に関するワーキンググループから議事録の提出があった。

(2) オープン、ジュニア I・II は非会員の参加を認め、それ以外は非会友の参加を認めないよう IMP 規定を改訂することで合意した。

(3) 主催団体は非会員がジュニア I・II へ参加するときにブリッジ歴を確認し暫定シードポイントを定めるよう IMP 規定を改訂することで合意した。

(4) SP の上限に関して検討した。現行通り 400 点とすることで合意した。

(5) IMP のマスターポイントに関する平日係数について意見を交換した。MP・SP に関するワーキンググループでは平日係数の緩和もしくは撤廃の報告で検討していることについて改めて報告があった。

第 5 号議案 その他議案

(1) 新競技委員を対象とした、上告委員会の勉強会を開催の報告が仲村委員よりあった。参加者は新競技委員 2 名を含む 5 名だった。

(2) 浜松地方クラブ会議にてサイキック頻度のチェック欄の再掲要望があり検討した。

・ ACBL のコンベンションカードからは削除されている。

・ WBF のコンベンションカードには記載されている。

・ 対戦相手のスタイルの確認に関して一定の効果がある。

- ・裁定が特に替わるわけでもないため効果は限定的である。  
などの意見検討され、現状通りとすることで合意した。
- (4) 吉田委員より ACBL ナショナルでの防犯カメラの運用写真の提出があった。
- (5) 事務局より ACBL ブリテンの記事に関して紹介があった。
  - ・INT オープンに関して AKQ のシングルトンが許容されるようになった。
  - ・吉田委員より日本と同様の規定だがより詳しい表現があると報告があった。
  - ・コンベンションに関するワーキンググループで検討することとした。
- (6) 藤山杯の試合形式について予選決勝のあり方など意見交換を行った。
- (7) 春季リジョナルの試合形式について意見交換を行った。

次回競技委員会は 2016 年 10 月 5 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。  
次々回競技委員会は 2016 年 12 月 7 日（水）18 時 00 分からの開催を予定する。

以 上